



2025 年 6 月 17 日

2024 年度 期末連結決算
リノベーションによる新商業施設開業と国際線旅客増加の効果により増収増益

関西エアポート株式会社は、2024 年 4 月から 2025 年 3 月までの第 10 期会計年度連結決算において、営業収益は 2,454 億円、営業利益は 646 億円、経常利益は 540 億円、当期純利益*は 368 億円を計上しました。

当期は、国際線航空需要が回復・成長したことや、2023 年 12 月に開業した関西国際空港第 1 ターミナルビル新商業施設の売上好調により、前年度と比較すると、営業収益は 31%の増加、営業利益は前期比 306 億円の増益、経常損益は 307 億円の増益、当期純利益は 213 億円の増益となりました。

(連結損益計算書)

(単位：億円)

	2023.4-2024.3	2024.4-2025.3	増減	%
営業収益	1,868	2,454	586	+31%
外部費用	(1,087)	(1,362)	(275)	+25%
EBITDA	782	1,092	311	+40%
減価償却費	(442)	(446)	(4)	+1%
営業利益	340	646	306	+90%
経常利益	232	540	307	+132%
当期純利益*	155	368	213	+138%

* 「当期純利益」は、「当社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

(航空需要の状況)

3 空港合わせた航空機発着回数は 36.9 万回（前年度比+8%）、航空旅客数は 5,086 万人（前年度比 +15%）となり、いずれも年度として過去最高を更新しました。
国際線については、外国人旅客数が過去最高を更新しました。特に中国方面の航空機発着回数および航空旅客数の増加がけん引し、国際線旅客便発着回数および国際線旅客数は、関西国際空港開港以来、過去最高を記録しました。
国内線については、航空機発着回数、旅客数ともに前年度並みとなりましたが、神戸空港の旅客数は 361 万人となり、過去最高を記録しました。

	2023.4-2024.3	2024.4-2025.3	増減	%
航空機発着回数（万回）	34.2	36.9	2.7	+8%
関西国際空港	17.0	19.9	2.9	+17%
大阪国際空港	13.8	13.7	(0.1)	(0%)
神戸空港	3.5	3.3	(0.1)	(4%)
航空旅客数（万人）	4,413	5,086	673	+15%
関西国際空港	2,589	3,180	591	+23%
大阪国際空港	1,479	1,545	66	+4%
神戸空港	344	361	17	+5%

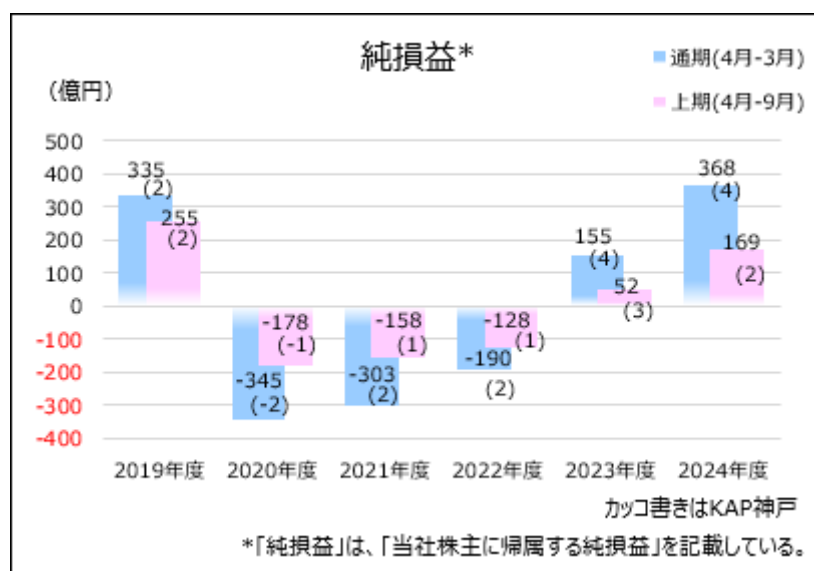
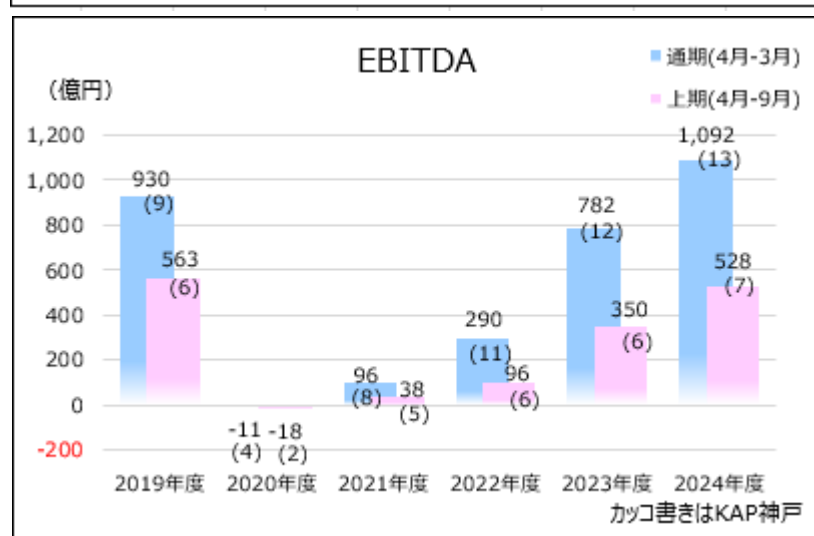
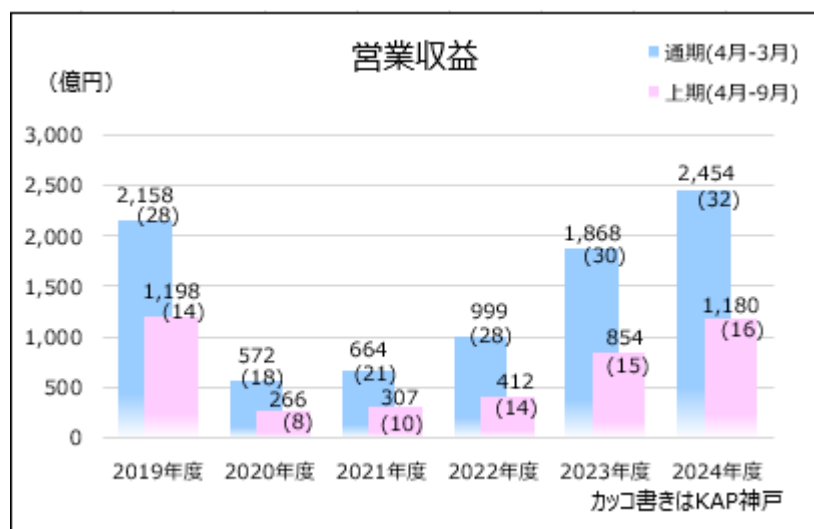
（連結貸借対照表）

2025年3月31日現在における財政状態は、前期末と比較すると EBITDA の増加に伴う現金及び預金の増加により資産合計は 1 兆 5,964 億円となりました。また、運営権対価の支払いにより、公共施設等運営権に係る負債が減少した結果、負債合計は 1 兆 5,159 億円となりました。

（単位：億円）

	2024.3.31 現在	2025.3.31 現在	増減
流動資産	1,122	1,540	418
固定資産	14,731	14,424	(308)
資産合計	15,853	15,964	111
流動負債	642	907	265
固定負債	14,783	14,252	(531)
負債合計	15,425	15,159	(266)
株主資本	401	769	368
その他の包括利益累計額	7	14	7
非支配株主持分	21	21	1
純資産合計	428	804	376
負債・純資産合計	15,853	15,964	111

(参考資料) 連結決算の推移



【報道関係の方からのお問い合わせ先】
 関西エアポート株式会社
 グループコーポレートコミュニケーション部
 パブリックリレーション
 Tel : 072-455-2201

連結損益計算書

〔 自 2024年4月1日
至 2025年3月31日 〕

(単位：百万円)

営業収益		245,427
営業原価		153,946
営業総利益		91,480
販売費及び一般管理費		26,858
営業利益		64,622
営業外収益		1,237
受取利息及び配当金	514	
持分法による投資利益	231	
その他の営業外収益	492	
営業外費用		11,897
支払利息	11,830	
支払手数料	44	
その他の営業外費用	22	
経常利益		53,963
特別利益		557
固定資産売却益	409	
補助金収入	148	
特別損失		1,879
固定資産除却損	461	
固定資産売却損	0	
固定資産圧縮損	140	
更新投資に伴う撤去費用	960	
退職給付制度終了損	316	
税金等調整前当期純利益		52,641
法人税、住民税及び事業税	2,303	
法人税等調整額	13,450	15,754
当期純利益		36,886
非支配株主に帰属する当期純利益		85
親会社株主に帰属する当期純利益		36,801

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結貸借対照表

[2025年3月31日現在]

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	154,001	流 動 負 債	90,682
現 金 及 び 預 金	116,800	買 掛 金	4,997
売 掛 金	11,947	未 払 金	33,252
契 約 資 産	305	未 払 費 用	6,080
商 品	6,995	1年内返済予定の長期借入金	4,326
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,449	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,691
1年内回収予定の差入保証金	2,239	未 払 法 人 税 等	2,722
未 収 金	7,952	契 約 負 債	1,908
そ の 他	6,310	賞 与 引 当 金	1,936
貸 倒 引 当 金	△0	ポ イ ン ト 引 当 金	44
固 定 資 産	1,442,351	そ の 他	4,720
有 形 固 定 資 産	48,821	固 定 負 債	1,425,222
建 物 及 び 構 築 物	4,002	社 債	4,860
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	17,380	長 期 借 入 金	190,773
工 具 器 具 備 品	4,945	公共施設等運営権に係る負債	1,160,678
土 地	547	特 別 修 繕 引 当 金	50,245
建 設 仮 勘 定	21,860	退 職 給 付 に 係 る 負 債	6,848
そ の 他	84	そ の 他	11,816
無 形 固 定 資 産	1,279,947	負 債 合 計	1,515,905
公 共 施 設 等 運 営 権	1,207,353	純 資 産 の 部	
更 新 投 資 に 係 る 資 産	70,707	株 主 資 本	76,861
そ の 他	1,885	資 本 金	25,000
投 資 そ の 他 の 資 産	113,583	資 本 剰 余 金	25,000
投 資 有 価 証 券	1,262	利 益 剰 余 金	26,861
差 入 保 証 金	83,909	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	1,445
繰 延 税 金 資 産	26,212	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1,445
そ の 他	2,206	非 支 配 株 主 持 分	2,140
貸 倒 引 当 金	△7	純 資 産 合 計	80,447
資 産 合 計	1,596,352	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,596,352

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 34,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14 か国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者にも先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アジックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2024年度 期末連結決算

2025.6.17

Shaping a New Journey



アジェンダ



2024年度 期末連結決算の概要



営業収益分析



2024年度の主な取り組み



質疑応答





2024年度 期末連結決算の概要

国際線旅客増と新商業施設オープンなどにより増収増益

【単位：億円】

1. 国際線需要の増加により3 空港旅客数は、5千万人を突破し年度として過去最高

2. 免税店などの新商業施設が、増加したインバウンド需要を取り込み、前年より増収

3. 継続的なコスト管理により、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも増加

	2023.4-2024.3	2024.4-2025.3	増減	%
営業収益	1,868	2,454	+586	+31%
EBITDA	782	1,092	+311	+40%
営業利益	340	646	+306	+90%
経常利益	232	540	+307	+132%
当期純利益*	155	368	+213	+138%

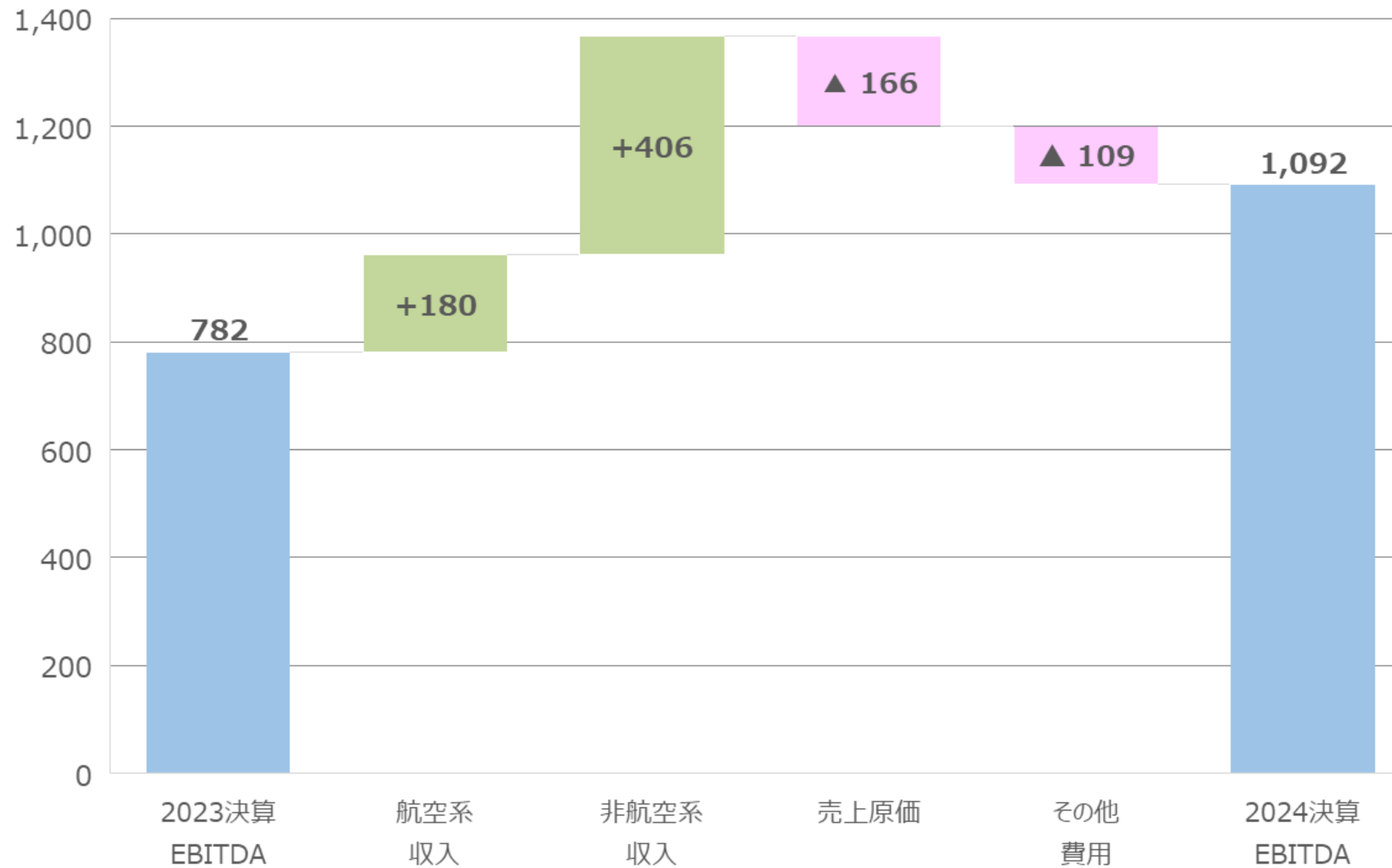
経営成績

【単位：億円】

	2023.4-2024.3	2024.4-2025.3	増減	%
営業収益	1,868	2,454	586	+31%
航空系	803	983	180	+22%
非航空系	1,065	1,471	406	+38%
営業費用（減価償却費除く）	(1,087)	(1,362)	(275)	+25%
EBITDA	782	1,092	311	+40%
減価償却費	(442)	(446)	(4)	+1%
営業利益	340	646	306	+90%
営業外損益	(107)	(107)	1	(1%)
経常利益	232	540	307	+132%
特別損益	(9)	(13)	(4)	+41%
法人税等、非支配株主帰属損益	(68)	(158)	(90)	+132%
当期純利益*	155	368	213	+138%

EBITDA（前年比）

【単位：億円】



バランスシート

【単位：億円】

		2024.3.31現在	2025.3.31現在	増減
公共施設等 運営権等	流動資産	1,122	1,540	418
	うち 現金及び預金	818	1,168	350
	固定資産	14,731	14,424	(308)
	資産合計	15,853	15,964	111
公共施設等 運営権に係る負債等	流動負債	642	907	265
	固定負債	14,783	14,252	(531)
	負債合計	15,425	15,159	(266)
	株主資本	401	769	368
	その他の包括利益累計額	7	14	7
	非支配株主持分	21	21	1
	純資産合計	428	804	376
	負債・純資産合計	15,853	15,964	111
【参考】				
	有利子負債残高	2,242	2,000	(243)



営業収益分析

航空系：国際線旅客数が過去最高を記録

→ **3空港合計の旅客数は5,086万人（2019年度比106%）、発着回数は36.9万回（2019年度比101%）となり、コロナ禍前を超える水準。**

→ 国際線旅客数・発着回数

国際線の発着回数は151,275回で、前年度比126%、2019年度比103%と、年度として開港以来過去最高を記録。

国際線旅客数は、外国人旅客数が1,983万人と年度として過去最高を記録するなど成長を強く牽引し、国際線旅客数全体としても2,508万人と、年度として過去最高を記録。

→ 3空港国内線旅客数・発着回数

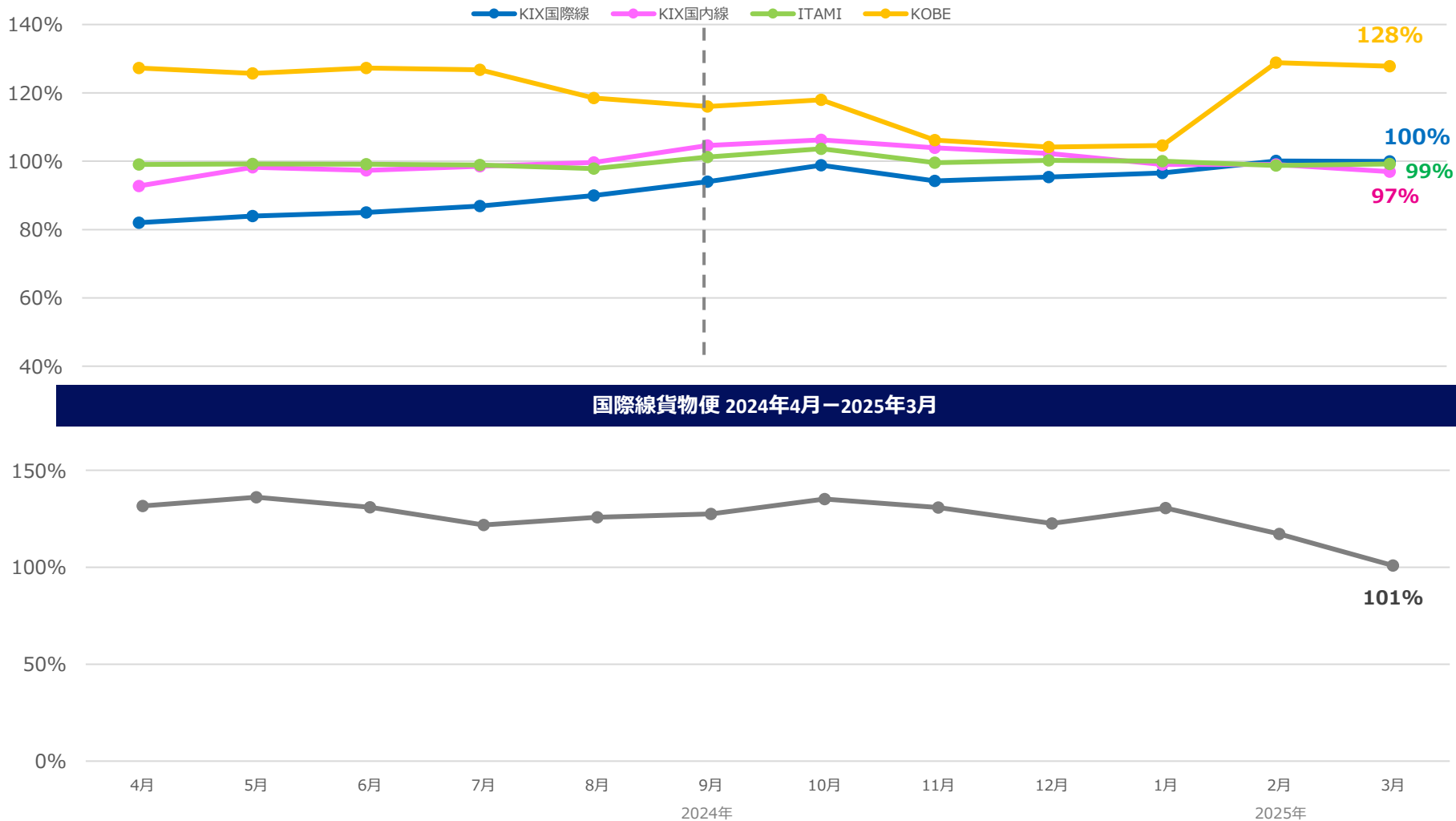
3空港における国内線の発着回数は218,113回で、前年度比98%と、年度として過去最高を記録した前年度をやや下回った。

国内線旅客数は2,578万人、前年度比103%。なお神戸空港の旅客数は361万人となり、年度として過去最高を記録。

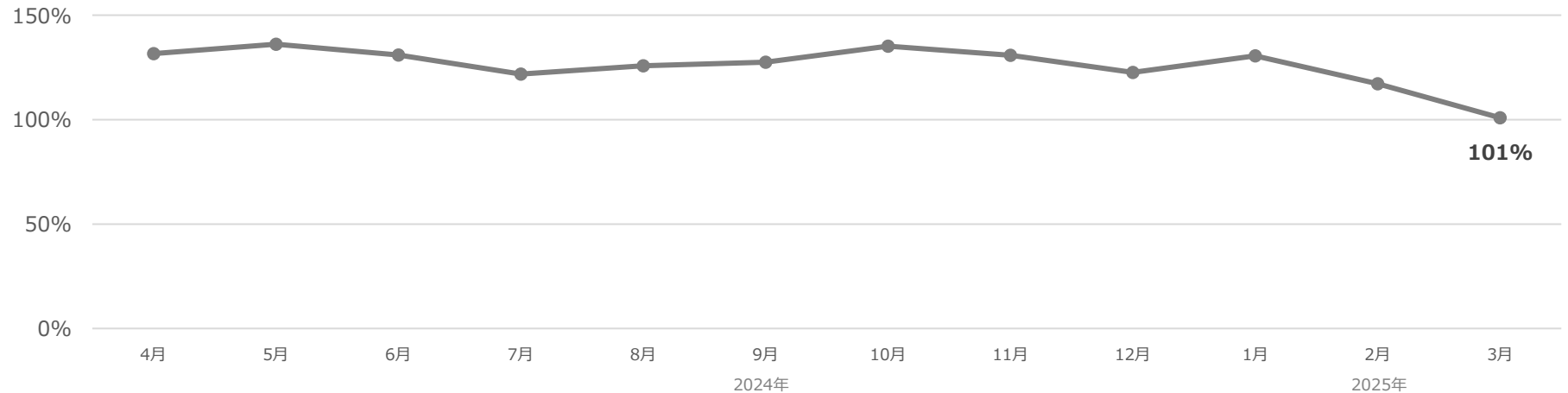
	2023年度	2024年度	前年度比	2019年度比
発着回数（万回）	34.2	36.9	+8%	+1%
関西国際空港（国際線）	12.1	15.1	+26%	+3%
関西国際空港（国内線）	4.9	4.8	-3%	-3%
大阪国際空港（国内線）	13.8	13.7	0%	+0%
神戸空港（国内線）	3.5	3.3	-4%	+1%
航空旅客数（万人）	4,413	5,086	+15%	+6%
関西国際空港	2,589	3,180	+23%	+11%
国際線	1,906	2,508	+32%	+14%
日本人旅客	394	514	+30%	-28%
外国人旅客	1,502	1,983	+32%	+35%
国内線	683	672	-2%	+0%
大阪国際空港	1,479	1,545	+4%	-2%
神戸空港	344	361	+5%	+10%
3空港国内線（万人）	2,506	2,578	+3%	+0%

航空系：関西3空港 発着回数（2019年度比）

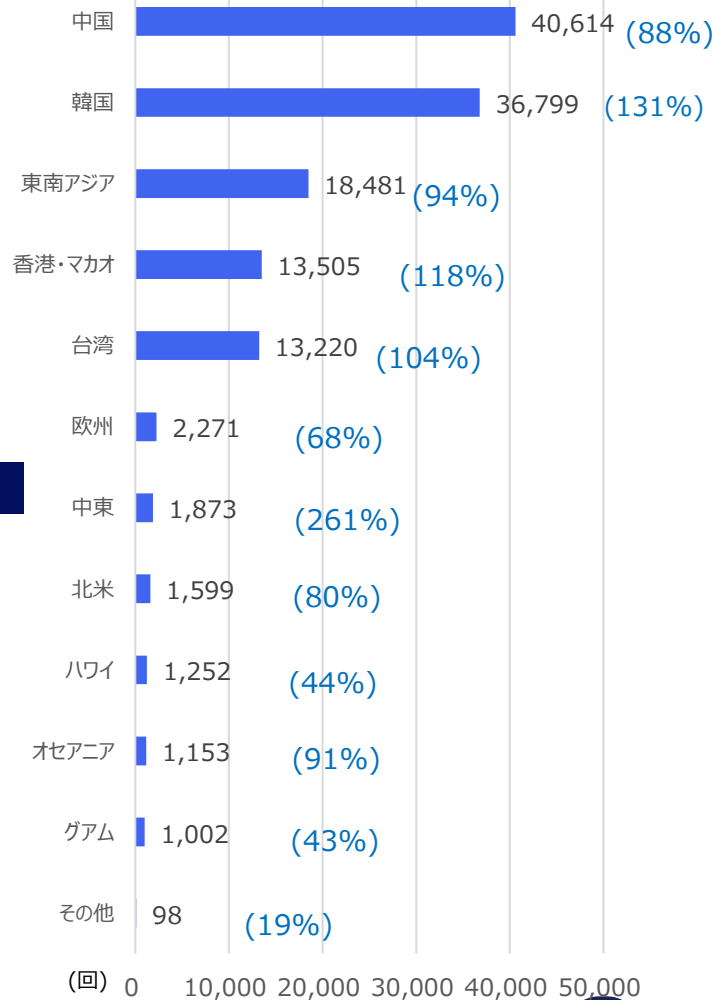
旅客便 2024年4月－2025年3月



国際線貨物便 2024年4月－2025年3月

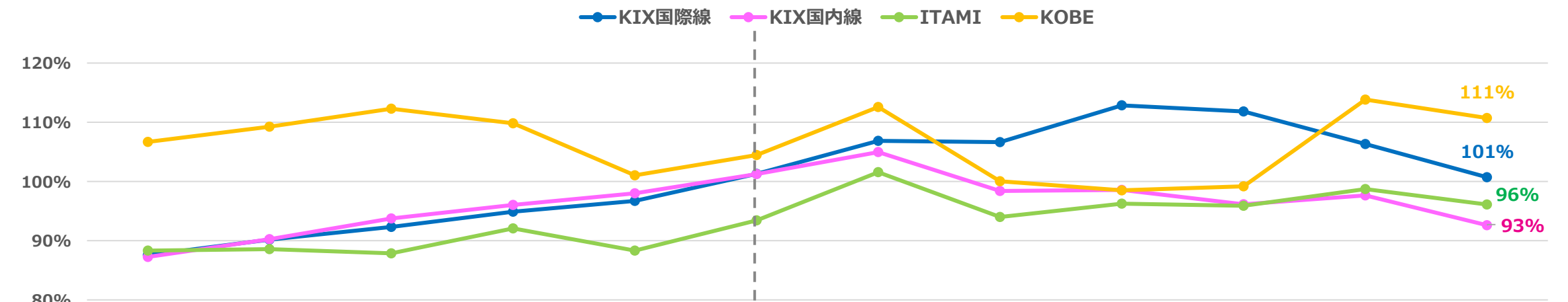


国際線旅客便 2024年4月-2025年3月
方面別発着回数 および2019年度比回復率

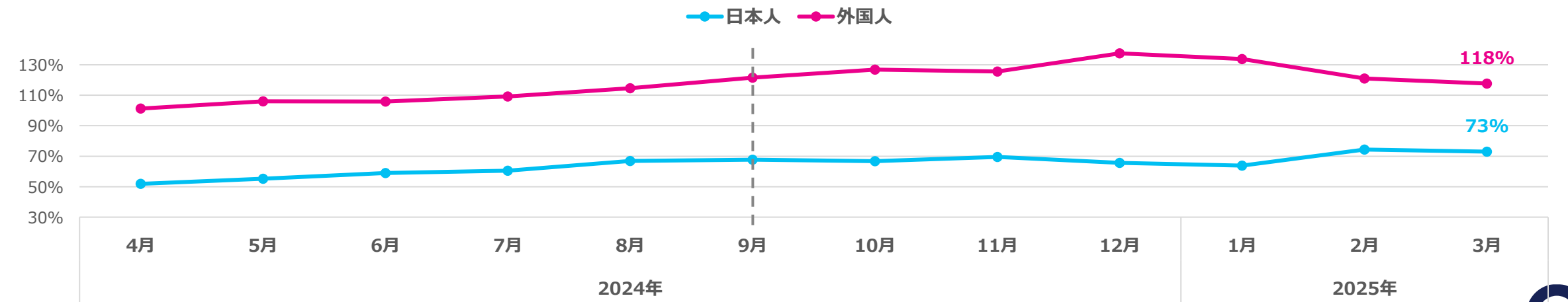


航空系：関西3空港 旅客数（2019年度比）

関西3空港 旅客数 2024年4月-2025年3月



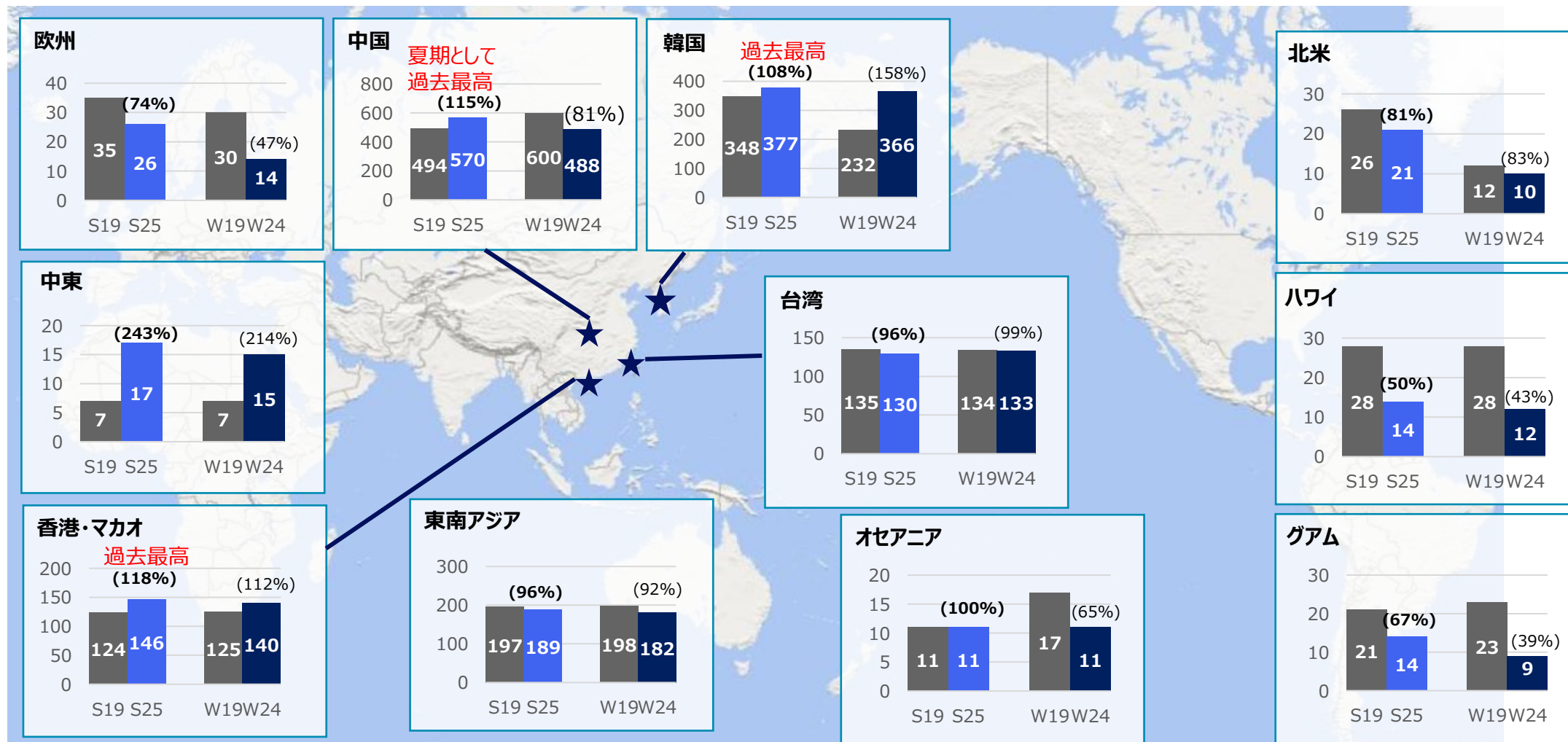
関西国際空港 国際線旅客数 日本人／外国人 2024年4月-2025年3月



航空系：2025夏期スケジュール国際旅客定期便

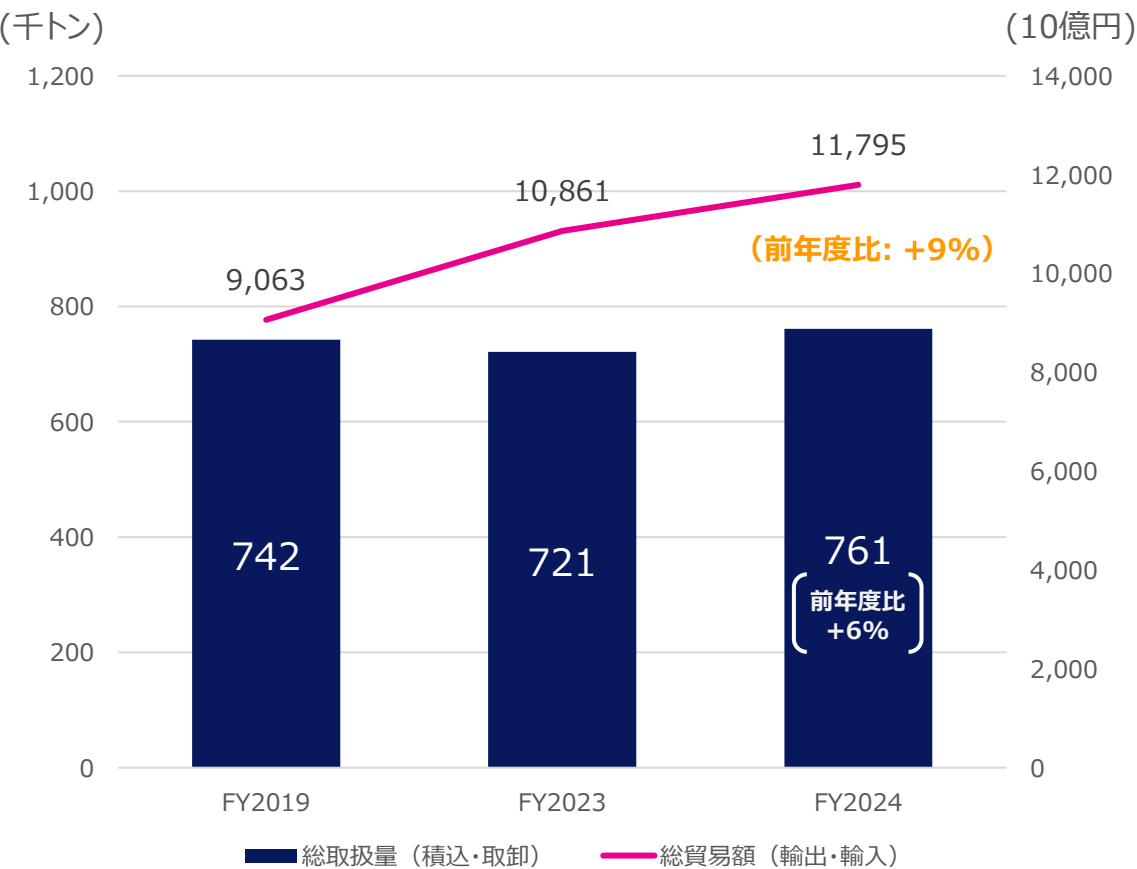
- ・ S25 は2025年夏期スケジュールの7月の計画便数
- ・ W24 は2024年冬期スケジュールにおける2/28現在のピーク便数（1月）
- ・ グラフ中（ ）内の数値は2019年夏期/冬期スケジュールとの同期比較の便数の回復率

S25 :  **1,517便** (S19比**106%**)  **65社**  **66地点** W24 : 1,380便 (W19比98%) 60社 59地点



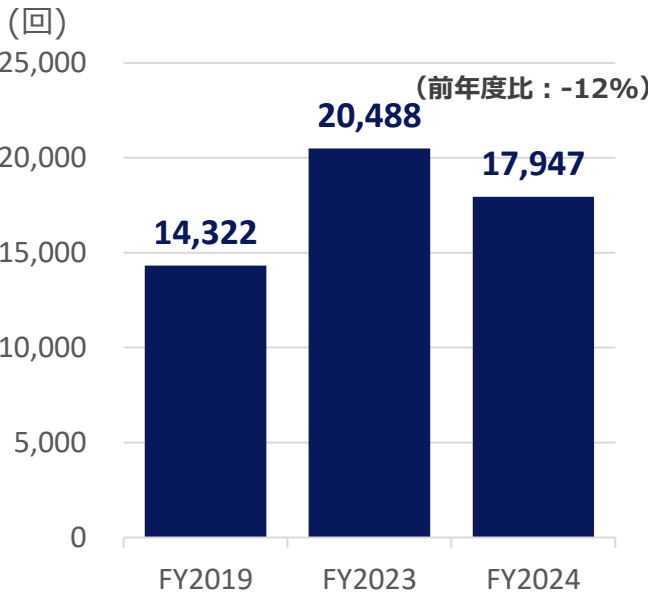
国際貨物：発着回数・貨物量・貿易額

KIX/国際線貨物量・貿易額

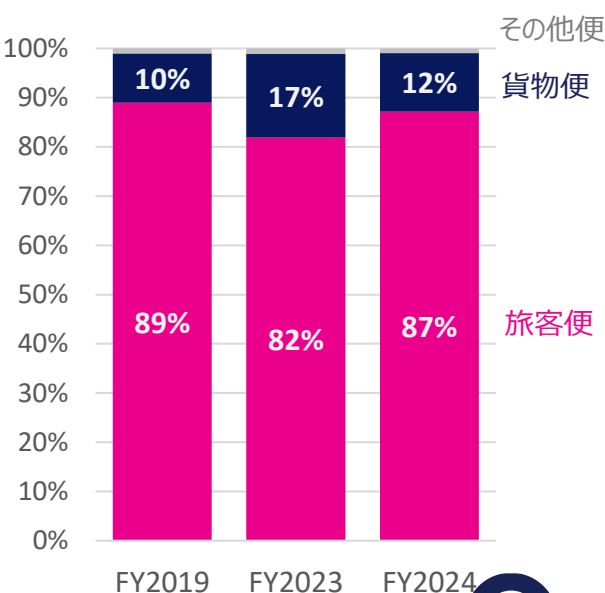


- ✈ 世界経済の持ち直しとともに、航空貨物の需要も堅調に推移。特に北米や欧州などの主要路線で貨物需要が回復。
- ✈ 国際貨物便については、国際旅客便の復便に伴い貨物輸送キャパシティが増加していることもあり、発着回数は減少しているが、コロナ禍前比では引き続き高い水準を維持している。また、医薬品や半導体など高付加価値貨物の取り扱いも増加。
- ✈ ECサイトを通じた通販市場の急成長などの影響により、特に中国発日本向けのEコマース輸送需要は引き続き好調。また、半導体関連や自動車関連の輸送需要は底堅く一定の需要がある。

KIX/国際線貨物便発着回数

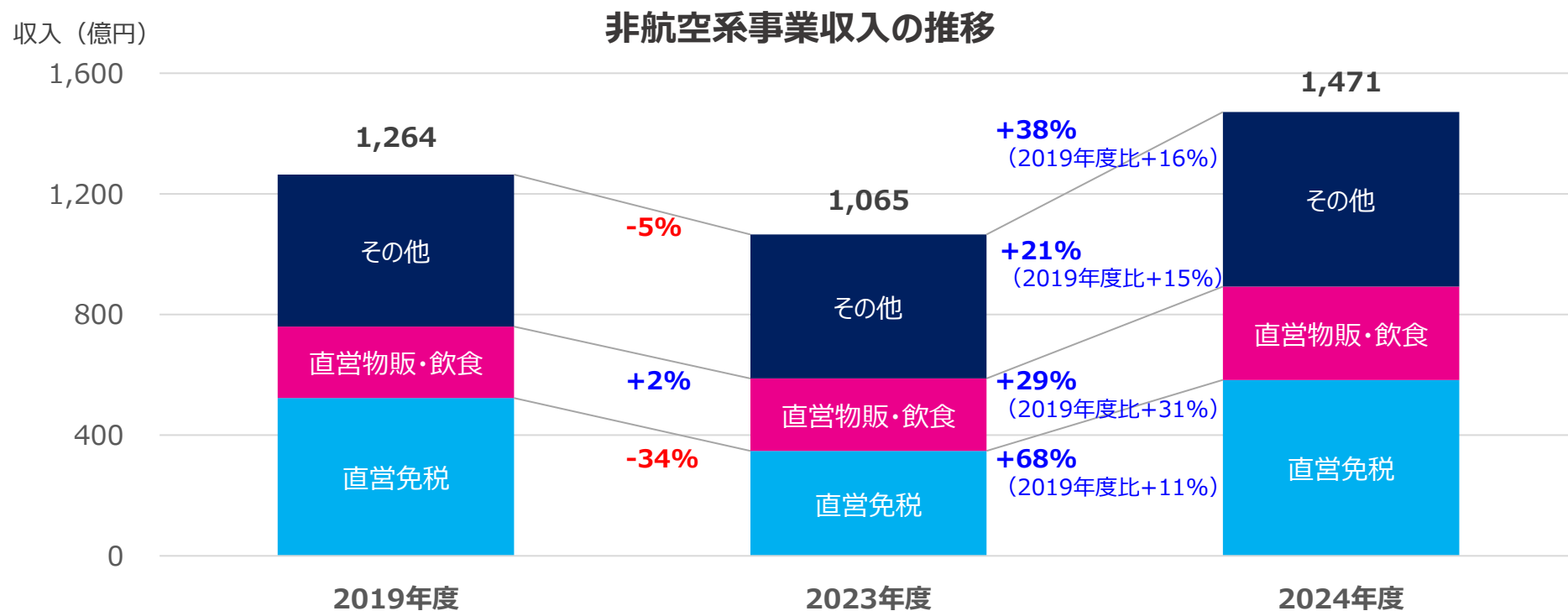


KIX/国際線発着回数シェア



非航空系：新商業エリアの通年営業により年度収入が2019年度実績を超え、過去最高

- ➔ 2024年度の非航空系事業収入は2019年度実績を超え、過去最高となる1,471億円を記録
- ➔ 旅客数の回復に加え、2023年12月に開業した新国際線商業エリアの通年営業が収入増加に大きく貢献
- ➔ リノベーション効果による旅客一人当たりの購買単価の向上や円安効果もあり、直営・テナント共に好調に推移し、店舗収入全体で増収





2024年度の主な取り組み

2024年度の主な取り組み

3空港

- ・関西3空港のLINE公式アカウントを開設（9/18）
- ・関西3空港で空の日イベントの実施を発表（9/21, 10/20, 11/9）

KIX

- ・SKYTRAX国際空港評価「World Airport Awards 2024」手荷物取扱い部門で世界1位！（4/19）
- ・藻場プロジェクトが「Green Airports Recognition 2024」でプラチナ賞を初受賞（5/23）
- ・親子環境ツアー2024を開催（8/19・8/20）
- ・T1リノベーション 4階国際線保安検査場先行オープン（9/3）
- ・開港30周年記念イベントを実施（9/4）
- ・KIX Cargo Cloud導入（11/20）
- ・2期島国際貨物地区に3スポット増設（12/26）
- ・太陽光発電「KIX Sora×Solar」供給開始（2/1）
- ・Peachとの共同アートプロジェクトが始動（3/4）
- ・T1リノベーション グランドオープン（3/27）



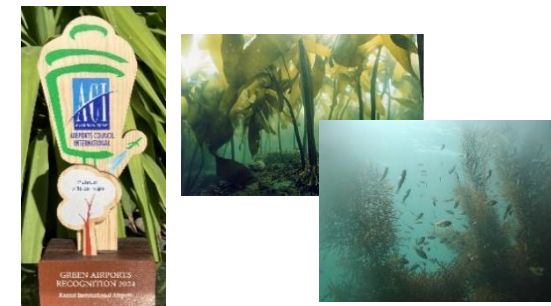
関西3空港のLINE公式アカウントを開設！



SKYTRAX国際空港評価「World Airport Awards 2024」手荷物取扱い部門で世界1位！



KIX Sora×Solar



藻場プロジェクトが「Green Airports Recognition 2024」でプラチナ賞を初受賞



KIX開港30周年記念イベント



T1Rグランドオープン

2024年度の主な取り組み

ITAMI

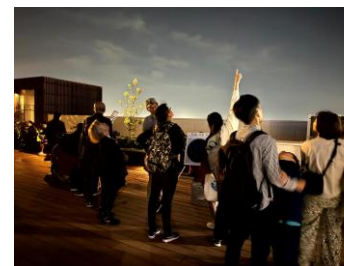
- ・ランウェイウォークを開催（7/6）
- ・星空観望会を開催（10/12）
- ・「バル・ミュゼット巴里」ダンスコンサートを開催（10/22）
- ・英語表記を「Osaka Itami Airport」に変更（1/30）
- ・太陽光発電「ITAMI Sora×Solar」供給開始（2/1）
- ・「大阪・関西万博 特別塗装機を間近で見よう！」を開催（3/29）



ITAMIランウェイウォークを開催



万博塗装機



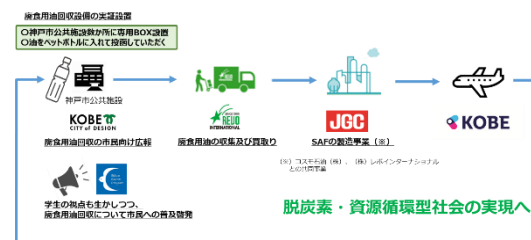
星空観望会



神戸空港 新規バス路線

KOBE

- ・神戸空港 ～ 神戸ベイシェラトンホテル ～ ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを結ぶバスの運行を開始（5/24）
- ・「神戸市の廃食用油回収促進に係る持続可能な社会の構築に向けた連携協定」を締結（6/28）
- ・夏休み早朝親子滑走路ウォークを開催（7/20）
- ・搭乗者5000万人達成記念セレモニー（2/10）
- ・神戸空港グランドハンドリング新会社設立（3/3）
- ・トキエアが新潟線を新規就航（3/30）



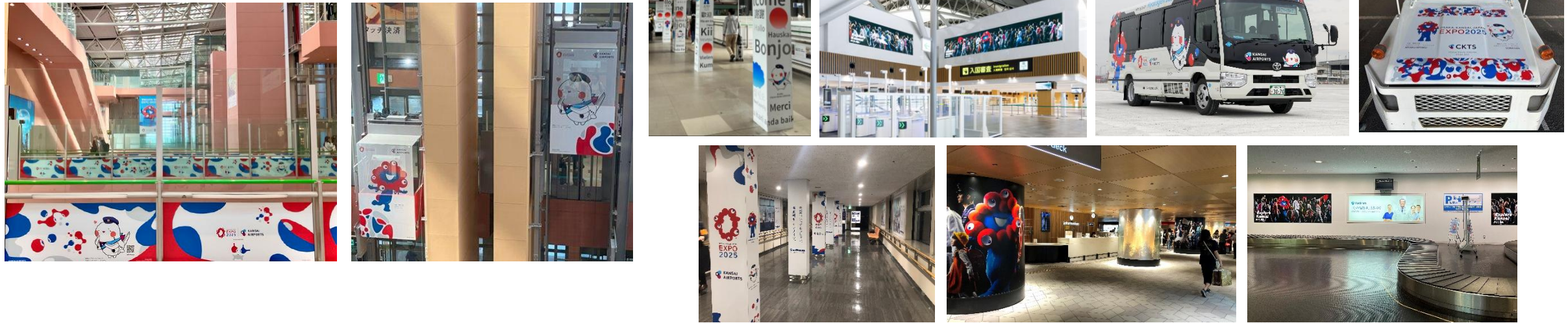
「神戸市の廃食用油回収促進に係る持続可能な社会の構築に向けた連携協定」を締結



搭乗者5000万人達成記念セレモニー

2024年度の主な取り組み（大阪・関西万博 機運醸成）

館内などの装飾（KIX、ITAMI、KOBE）



万博に関連した情報発信（KIX 第1ターミナルビル1F）



環境の取組

空港webサイト、SNSなどでの情報発信



西日本の観光

店舗で配布



コースター



ショッピングバッグ

設置協力（KIX）



ボランティア
インフォメーションカウンター